




MAmidiMEmo オペレーションマニュアル SPFM編

V1.1.0

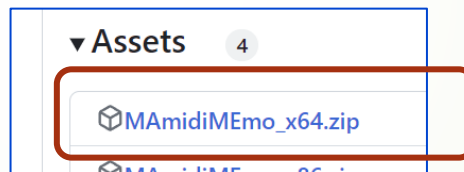
-  scci.dll
 **scciconfig.exe**
 ScciWrapper.dll meta

-
- The diagram illustrates the process of configuring the SPFM Light interface. It starts with the 'scci setup' dialog where 'SPFM Light(COM12)' is selected in the 'Interface' dropdown. Clicking the 'Setup' button leads to the 'SPFM Light(COM12) setup' dialog. In this second dialog, the 'Interface' checkbox is checked, and the 'Sound chip setting' section is expanded, showing parameters for Slot0, Slot1, ChipType, and Frequency. The 'ChipType' for Slot1 is highlighted in blue.

MAmidiMEmoを起動する

(以下 MAmiと略)

1. VC++ 2012 Runtimeをインストールします
<https://www.microsoft.com/en-au/download/details.aspx?id=30679>
2. <https://github.com/110-kenichi/mame/releases> から最新版のMAmiをダウンロードします

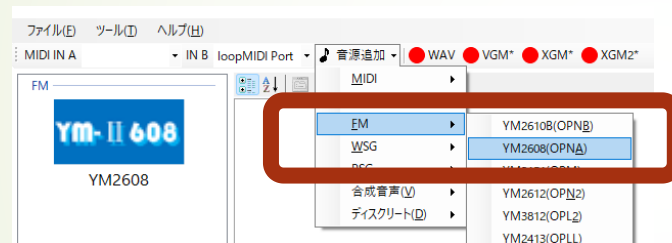


zipを解凍します(注：Windows標準の解凍ツールだとセキュリティフラグが立って実行できない場合があるため 7zip など他の解凍ツールがお勧めです)

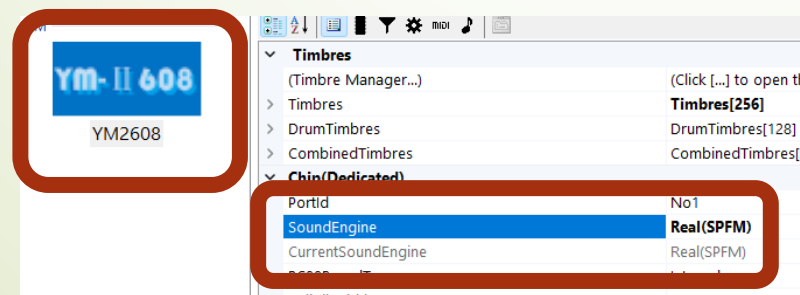
3. MAmidiMemo.exeが起動する事を確認してください。

SPFM経由で音を鳴らす設定

1. SPFMの音源ボードをPCに繋げ電源を入れておきます
2. MAmidiMEmoを起動し、搭載されている音源(YM2608など)を追加します。



3. 追加した音源のアイコンをクリックし、SoundEngineに[Real(SPFM)]を選択します。正常に認識されればCurrentSoundEngineも[Real(SPFM)]となります。認識されない場合は、MAmiを終了し、前ページのscciconfigをやり直してください。



Internal になってないこと

MAmidiMEmoのVST2音源としてインストールする(1/2)

MAmidiMEmo(以降MAmiと記載)はMIDIにちゃんと対応したDAW(Cubase Pro, Cakewalkなど)でないと使うのが困難です。

※すべてのDAWで動作するかどうかは未確認です。その場合はご連絡ください。

以下のA,Bどちらかでインストールしてください

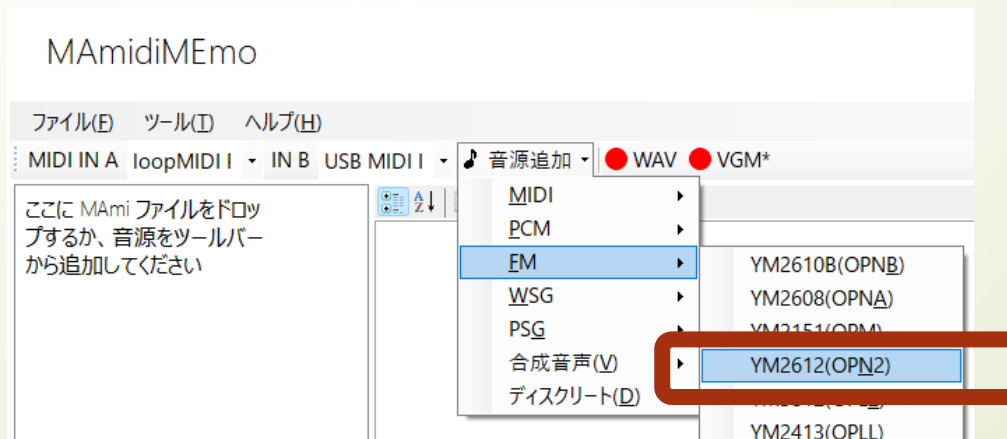
(A)一旦exeを起動し以下のメニューを選び、DAWのVST2フォルダを選択する。



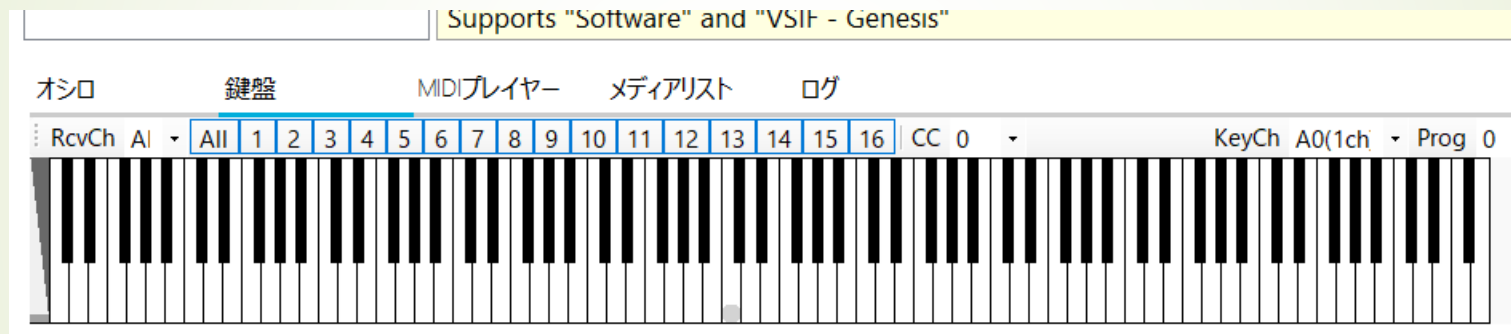
(B) DAWにMAmidiMEmoのVSTフォルダを指定する (こっちがお勧め)

MAmidiMEmoのVST2音源としてインストールする(2/2)

1. DAWでVSTiトラックを作成し、MAmidiMEmoを選びます
2. MAmiのウィンドウで音源(YM2612, YM2608など)を追加します
3. MAmiはMIDI音源のため、DAW上でMIDI chをMAmiに割り当ててください。
**※複数のMAmiを複数のトラックに登録してもそのうちの1つのMAmiでしかSPFM
を使えません**
※複数のMAmiを登録するとPCの負荷が高くなるので避けてください。



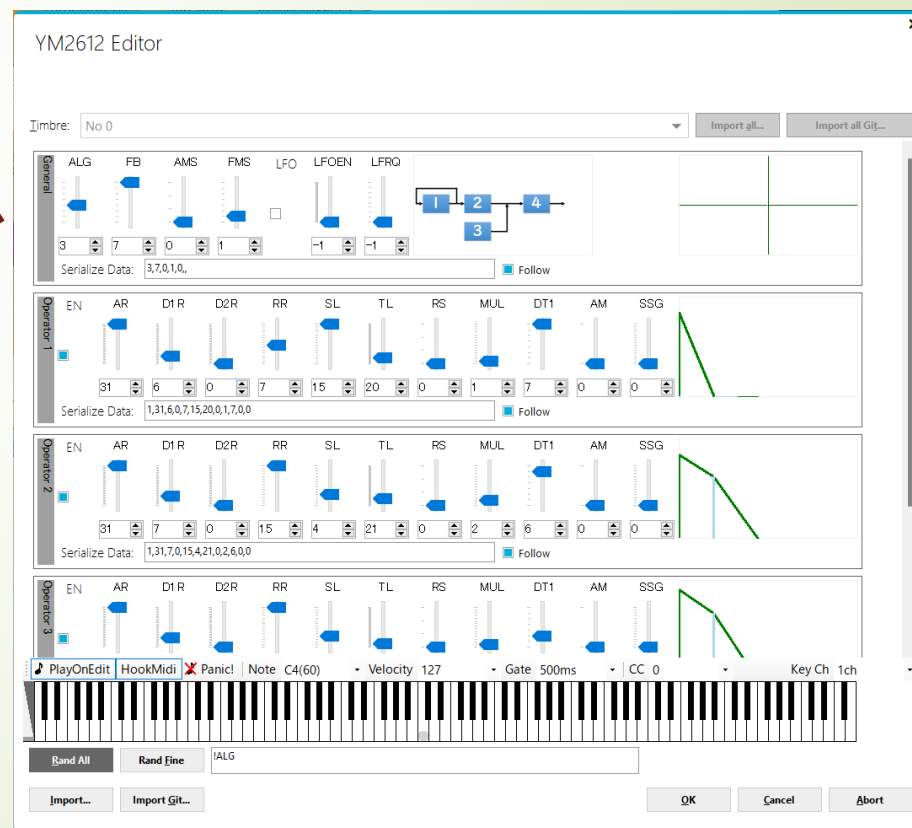
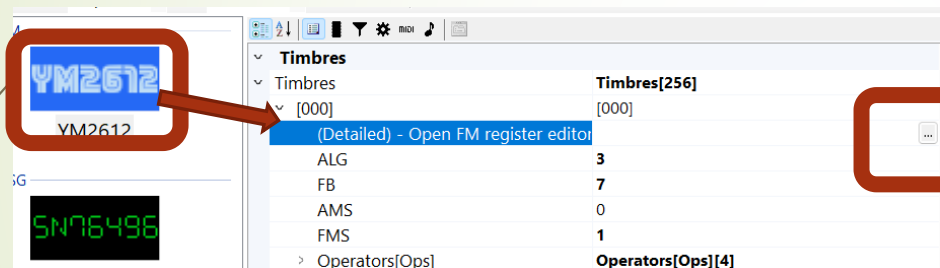
セットアップが正常であれば、鍵盤をクリックすると実機から音が鳴ります。



**MAmiのVST音源の設定の保存は自動で行われない場合があります
ほとんど(Cubaseなど。DAW依存)です。
忘れずにDAWのプロジェクトメニューから手動で
プロジェクト保存を行ってください**

音色設定1

音源(YM2612など)の[Timbres]で音色1~128のどれかを選び、[...]を押すとグラフィカルなFM音色エディタが起動します。



音色設定2

グラフィカルなFM音色エディタを起動しなくても、直接オペレータなどの編集も可能です

(Detailed) - Open FM register editor

ALG	3
FB	7
AMS	0
FMS	1
Operators[Ops]	Operators[Ops][4]
[0]	[0]
Enable	1
AR	31
D1R(DR)[D1R]	6
D2R(SR)[D2R]	0
RR	7
SL	15
TL	20
RS	0
MUL	1
DT1	7
AM	0
SSG_EG	0
MmlSerializeData	31,6,0,7,15,20,0,1,7,0,0
Memo	

音色設定3(エキスパート向け)

音源ドライバーによる独自の音色拡張設定も可能です

GlobalSettings	GlobalSettings
Enable	False
LFOEN	
LFRQ	
Midi Driver Settings[MDS]	Midi Driver Settings[MDS]
IgnoreKeyOff	False
KeyShift	0
PitchShift	0
PanShift	0
KeyOnDelay	0
KeyOffDelay	0
VelocityMap	
Memo	
SerializeData	{}
Sound Driver Settings[SDS]	Sound Driver Settings[SDS]
> ADSR	ADSR
> ARP	ARP
> FxS	FxS
Memo	
SerializeData	{}
Sound Control Change Settings[SCCS]	Sound Control Change Settings[SCCS]

MIDIでプログラムチェンジしたら、FM音源チップ全体の設定を変更する事が可能です

MIDIのコントロールチェンジ値にオフセットを追加できます

独自のADSRを設定できます

アルペジエーターを設定できます

独自のエフェクトを設定できます
(高速アルペジオ、トレモロなどに便利です)

音色設定4(エキスパート向け)

MIDIキーボードのノブ/スライダなどに音色の変更機能を割り当てられます

FM
YM2612
YM2612

PSG
SN76496
SN76496

Sound Control Change Settings[SCCS]	
SoundControl1	Ops[0].TL
SoundControl2	ALG
SoundControl3	
SoundControl4	
SoundControl5	
SoundControl6	
SoundControl10	
AfterTouchCh	
Memo	
SerializeData	{}
TimbreName	
Memo	
SerializeData	SerializeData
> [001]	[001]
> [002]	[002]
> [003]	[003]

SoundControl1
Sound Control 1(Control Change No.70(0x46))
Link Data Entry message value with the Timbre property value
eg 1) "DutyCycle,Volume"
... You can change DutyCycle and Volume property values dynamically via MIDI Control Change No.70 message.
eg 2) "16+Ops[2].TL/4, 64-Ops[2].MUL/2, Ops[2].D2R/4"

... You can change Operator TL, MUL, D2R values dynamically via MIDI Control Change No.70 message.

CC#70~79のメッセージを送る事で、ここに記載した音色レジスタなどの値を変更できます

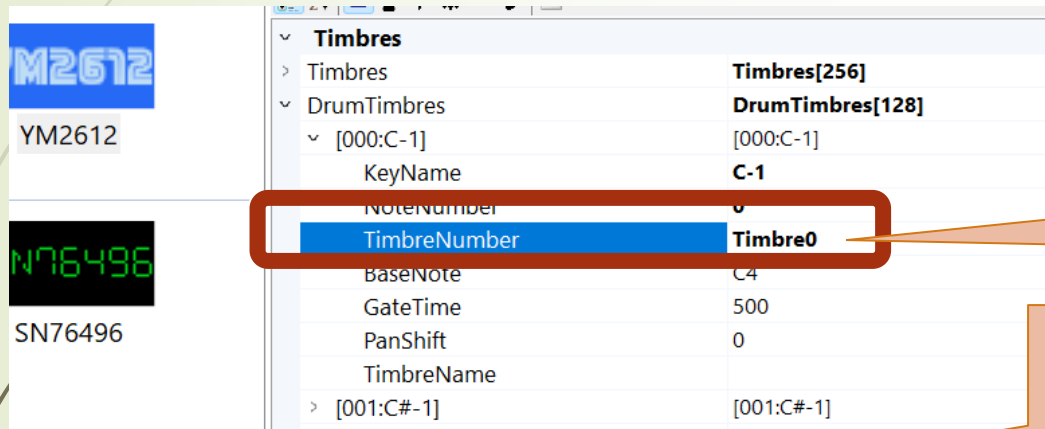
例えば「Ops[0].TL」と書くと、CC#70の値に合わせてオペレータ0のTL値が変化します。

四則演算も可能です。

AMS/PMSだけでなく、ALGなども記載できます。複数のレジスタを同時に変更したい場合は、カンマで区切っていれてください。

音色設定5(エキスパート向け)

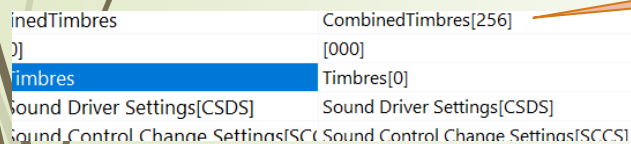
ドラムch(10ch)用の音色や、複数音を合成させた音色も設定できます



MIDI 10chの鍵盤C-1に、割り当てる音色を記載する

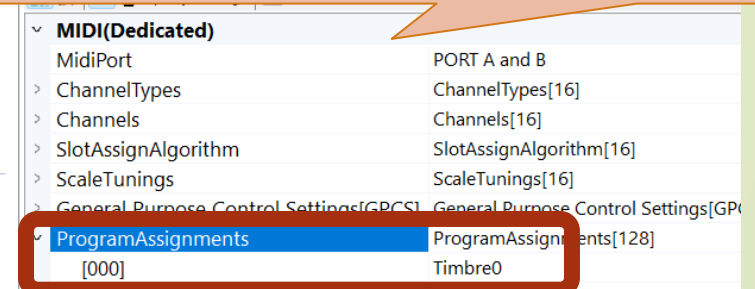
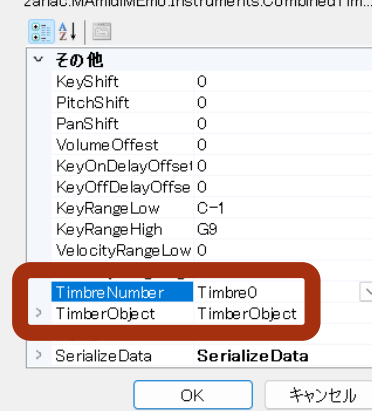
[CombinedTimbre]で複数音色を同時に鳴らせます

プログラム番号Xに、TimbreXではなく、CombinedTimbreXを割り当てます。(バンクを切り替えている、とイメージしてください)



追加(A)

削除(R)



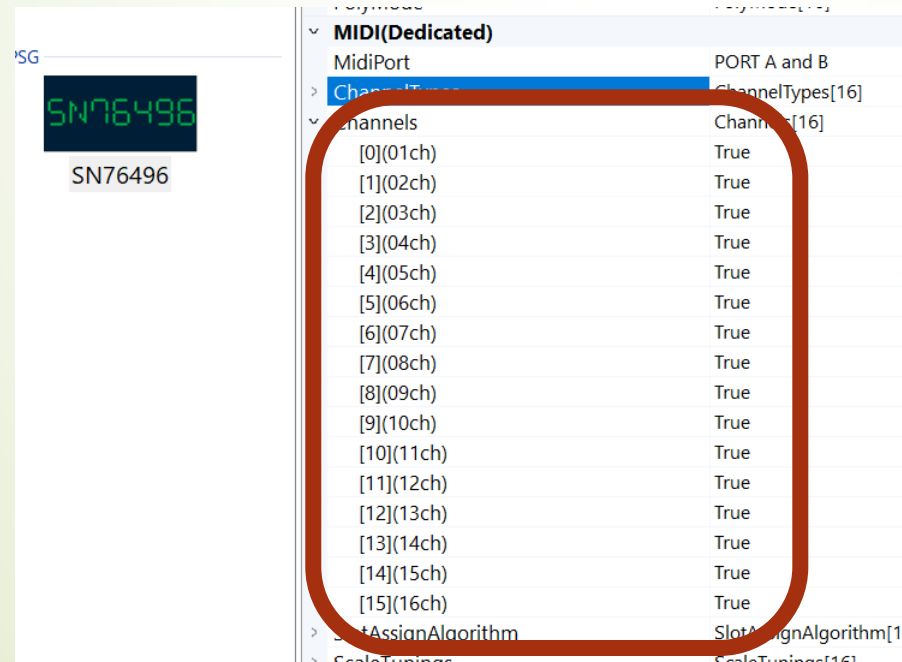
ドラムchのノートオフ制御

- ドラムch(通常10ch)は(デフォルトでは)MIDIのノートオフメッセージを受信してもノートオフせず、各音色のゲートタイム(GateTime)設定に合わせてノートオフします。
- これをMIDIのノートオフメッセージに合わせてノートオフするモードもあります。
- 以下に解説動画を用意しましたので、ご参考ください。

<https://youtu.be/wZeR3MJ7tRU>

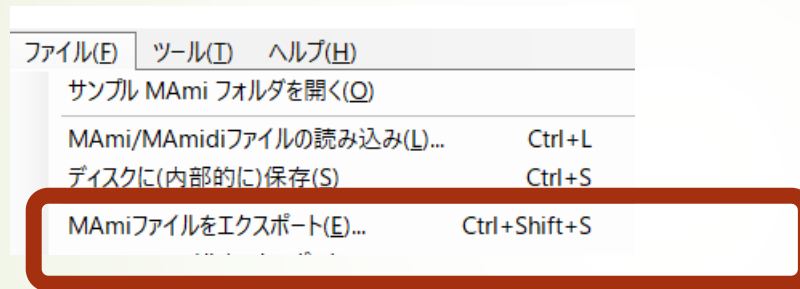
受信MIDI ch設定

- 複数音源を追加すると、デフォルトでは各音源とも同じMIDI chを受信してしまいます。
- それぞれで受信するMIDI chを設定する場合は以下の[Channels]で設定します

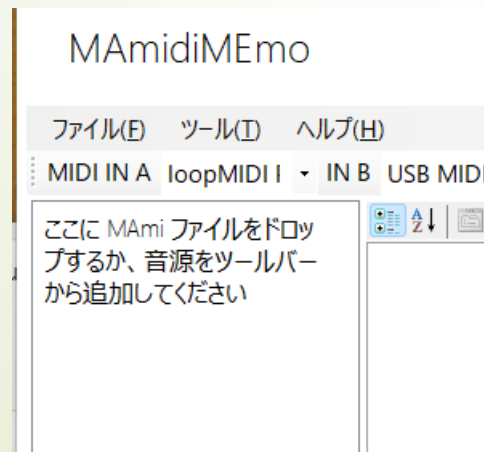


設定を別の場所にエクスポートする

[Mamiファイルをエクスポート]を選んでください。



*.Mamiファイルを読み込む場合は、ここにドロップします



- ザックリとした説明ですが以上です。マニュアルの方にもいくつか情報が記載されていますので参照ください。

<https://github.com/110-kenichi/mame/blob/master/docs/MAmidiMEmo/Manual.pdf>

- なにかあれば、お手数ですがDMなどください